

2024年3月期 第1四半期決算説明(電話会議) Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外の CKD 中国工場の現在の状況

A: メモリ関連を中心とした半導体設備投資の調整局面や中国市場の緩やかな回復ペースなどにより、4Qと比べて稼働は落ちております。

Q: 1Q実績の捉え方

A: 営業利益の変化要因は、前年同期対比で▲17億円減益です。これは5月の期初予想から今期を厳しめに予想し、ほぼ想定通りの着地となったためです。工場稼働が落ちている影響などによります。

Q: 機器 半導体市場の動向

A: 現在はメモリを中心に調整局面であると認識しております。ロジックも一部で投資タイミングに調整がみられますが、下期に入り、回復に向かってくとみております。メモリは在庫調整が長期化し、4Qに入って徐々に回復に向かうのではないかとみております。

Q: 機器 市場別1Q実績 海外主要地域別

A: 機器の市場別1Q実績はある程度想定通りでしたが、海外における販売や生産動向に厳しさが顕在化してきたと感じております。注視しながら対応してまいります。

Q: 自動機 1Q実績の捉え方

A: 受注は高い水準で推移しており、主力の薬品包装機とリチウムイオン電池用巻回機は引き合いも含め色々とお話を頂いております。現時点では、期初予想の通り、上期よりも下期にかけて売上高も利益もあがる予想となっております。